

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ-F		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡ-F		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	1
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。 ②「美」を通じ、人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①お客様に施術などの説明ができ、満足いただける技術及び接客が出来る。 ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	①授業態度他20%・接客態度他40%・技術レベル30% ②レポート10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	村松 美幸	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロン勤務歴6年/日本ネイリスト協会本部認定講師 検定やサロンで通用するスカルプチュアの技術取得に向けて指導を行う。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次復習	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通ず人を魅了することへの表現力を身につける
2	サロンワーク技術	
3	サロンワーク技術	
4	サロンワーク技術	
5	サロンワーク技術	
6	サロンワーク技術	

7	サロンワーク技術	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ ・BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける 	
8	サロンワーク技術		
9	サロンワーク技術		
10	サロンワーク技術		
11	サロンワーク技術		
12	サロンワーク技術		
13	サロンワーク技術		
14	サロンワーク技術		
15	総合授業		総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅢ－F		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅢ－F		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	1
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。 ②「美」を通じ、人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①お客様に施術などの説明ができ、満足いただける技術及び接客が出来る。 ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	①授業態度他20%・接客態度他40%・技術レベル30% ②レポート10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	村松美幸	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロン勤務歴6年/日本ネイリスト協会本部認定講師 検定やサロンで通用するスカルプチュアの技術取得に向けて指導を行う。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
2	サロンワーク技術	
3	サロンワーク技術	
4	サロンワーク技術	
5	サロンワーク技術	
6	サロンワーク技術	

7	サロンワーク技術	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ 	
8	サロンワーク技術		
9	サロンワーク技術		
10	サロンワーク技術		
11	サロンワーク技術		
12	サロンワーク技術		
13	サロンワーク技術		
14	サロンワーク技術		
15	総合授業		総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	施設実習		
必修選択	選択	(学則表記)	施設実習		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	80
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界の現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。				
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。				
評価基準	企業側評価60% 学校側評価40% (ビジネスマナー20%・各コース該当項目20%)				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の50時間以上の者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	就職対策Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	就職ガイドブック		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職するうえで必要な知識や心構えを身につける。 卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。				
到達目標	就職希望サロンを明確にし、内定取得に向けての知識・心構えが身についている。				
評価基準	テスト：50% 提出物：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	伊藤 匡史 他1名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職指導の目的 目標設定	<ul style="list-style-type: none"> ・就職指導を行う目的を理解 ・就職決定までの目標設定
2	言葉遣い	言葉遣い、敬語の使い方
3	自己分析	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が希望する就職先、職務内容について再確認する ・希望に向けての課題を理解する
4	自己PR	自己PR内容の見直し、ブラッシュアップ
5	書類選考対策	就職活動に必要な書類（履歴書やエントリーシート等）のパターンと対策
6	面接対策	面接対策、オンライン形式・対面形式それぞれのポイント
7	ビジネスマナー	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスメール ・電話のマナー
8	一般常識	一般常識対策
9	商品プレゼン	商品紹介(プレゼン)のポイントを説明、理解する

10	商品プレゼン	おすすめ商品をピックアップし、商品紹介（プレゼン）内容を考える
11	商品プレゼン	商品紹介(プレゼン)
12	商品プレゼン	商品紹介(プレゼン)
13	テスト	前期末試験
14	SNSについて	・ SNSのマナー ・ 有効的な使用方法
15	まとめ	前期総まとめ
16	前期の振り返り	前期の振り返り
17	働く意義	・ 何のために働くか ・ 働く上で大切なこと
18	人間力	・ 社会人として求められていること ・ 社会人と学生との違い
19	人間力	・ 愛される人材とは ・ 感謝の気持ち
20	自分の理想像	自分の理想とする社会人像とは
21	目標設定	2年生後期～5年後の目標設定
22	接客マナー	社会人として備えるべきマナーについて
23	電話応対	電話応対の方法
24	来客応対	来客時の応対方法
25	一般常識	就業するにあたって理解すべき言葉について(就業規則・社会人としての知識)
26	ケースワーク①	事例を上げ、原因と対応について考える
27	ケースワーク②	事例を上げ、原因と対応について考える
28	テスト	後期末試験
29	後期まとめ	後期のまとめ、振り返り
30	総まとめ	2年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	就職ガイドブック		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職するうえで必要な知識や心構えを身につける。 卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。				
到達目標	就職希望サロンを明確にし、内定取得に向けての知識・心構えが身についている。				
評価基準	テスト：50% 提出物：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	伊藤 匡史 他1名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職指導の目的 目標設定	・就職指導を行う目的を理解 ・就職決定までの目標設定
2	自己分析	・自分の内定先、職務内容について再確認する ・希望に向けての課題を理解する
3	お礼状の書き方	お礼状の書き方
4	送付状の書き方	必要な書類を送る際の送付状について
5	ビジネスマナー	職場での人との関わり方
6	ビジネスマナー	電話のマナー
7	一般常識	一般常識対策
8	お礼状の書き方	お礼状の書き方
9	社会人に向けて	社会人として意識してほしいこと

10	社会人に向けて	社会人に必要な心構え
11	ビジネスメールについて	ビジネスメールのマナー
12	ビジネスメール応用編	ビジネスメールのマナー
13	テスト	前期末試験
14	SNSについて	・ SNSのマナー ・ 有効的な使用方法
15	まとめ	前期総まとめ
16	後期の振り返り	前期の振り返り
17	働く意義	・ 何のために働くか ・ 働く上で大切なこと
18	人間力	・ 社会人として求められていること ・ 社会人と学生との違い
19	人間力	・ 愛される人材とは ・ 感謝の気持ち
20	自分の理想像	自分の理想とする社会人像とは
21	目標設定	社会人1年目～5年後の目標設定
22	接客マナー	社会人として備えるべきマナーについて
23	電話応対	電話応対の方法
24	来客応対	来客時の対応方法
25	一般常識	就業するにあたって理解すべき言葉について(就業規則・社会人としての知識)
26	ケースワーク①	事例を上げ、原因と対応について考える
27	ケースワーク②	事例を上げ、原因と対応について考える
28	テスト	後期末試験
29	後期まとめ	後期のまとめ、振り返り
30	総まとめ	2年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも (モスリン(4点))・和装スリッパ(下着)・クリップ (2本セット)足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。技術の習得目安として、『きもの着付3級(6月強制受験 免許強制)』を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付資格				
関連科目	着付けⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐渡 裕利伊	実務経験		○	
実務内容	介添え、着付け師の経験を活かし、着付けの知識、技術を習得させる。また、検定合格に導く授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付(裾線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方3	小紋の着付(お端折の作り方)を学び実践する
5	小紋の着せ方4	半幅帯(蝶結び)の結び方を学び実践する 小テスト(着物の名称)を実施する
6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる(検定対策)

7	小紋の着せ方 6	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
8	小紋の着せ方 7	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	きもの着付3級検定（小紋の着付と蝶結び20分）を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学 1	着物の名称と用語（プリント①②）について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	小紋と名古屋帯 1	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
14	小紋と名古屋帯 2	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付（仕上げ）と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	教本・衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(モスリン(4点))・和装スリッパ(下着)・クリップ(2本セット)足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。技術の習得目安として、『きもの着付2級(12月強制受験 免許任意)』を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付資格				
関連科目	着付けⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方1	授業の流れ、到達目標について説明する、考查票の記入、補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
2	振袖の着せ方2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
3	振袖の着せ方3	ふくら雀の結び方について学び実践する
4	振袖の着せ方4	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
5	振袖の着せ方5	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
6	振袖の着せ方6	振袖の着付を仕上げる(検定対策)

7	振袖の着せ方 7	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
8	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
9	検定試験	きもの着付 2 級検定試験（振袖にふくら雀 3 0 分）を実施する
10	座学 2	着物の T P O（プリント③④）について
11	小紋の着方 1	小紋の着方（自装）を学び実践する
12	小紋の着方 2	名古屋帯のお太鼓結び（自装の仕上げ）、着物の立居振舞を学び実践する
13	留袖の着せ方 1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
14	留袖の着せ方 2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
15	総合学習	女袴の着せ方と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジⅡ		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	1
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する。 お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ヘアアレンジⅠⅢ、ブライダルメイクⅠⅡ、アーティストメイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	門井 彩、他1名	実務経験	○		
実務内容	美容室勤務8年/劇場ヘアメイク8年/テーマパークヘアメイク2年。 サロンワーク経験を経てヘアアレンジやメイクデザイン等、特殊メイクを主に経験し幅広いヘアメイクの授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカーラー・ヘアアイロンなど)/振り返り
2	テーマに合わせたスタイル①	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(導入・練習)
3	テーマに合わせたスタイル②	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(練習)
4	テーマに合わせたスタイル③	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(テスト・振り返り)
5	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
6	夜会巻①	夜会巻・本夜会(導入・練習)
7	夜会巻②	夜会巻・本夜会(練習)
8	夜会巻③	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)

9	和装・洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
10	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
11	和装・洋装スタイル③	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
12	和装・洋装スタイル④	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
13	和装・洋装スタイル⑤	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
14	和装・洋装スタイル⑥	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジⅢ		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	1
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する。 お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ヘアアレンジⅠⅡ、ブライダルメイクⅠⅡ、アーティストメイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新日本髪①	授業の目的目標、評価基準、授業ルールの再確認 新日本髪(導入・練習)
2	新日本髪②	新日本髪(練習)
3	新日本髪③	新日本髪(テスト・振り返り)
4	和装・洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
5	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
6	和装・洋装スタイル③	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
7	和装・洋装スタイル④	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
8	和装・洋装スタイル⑤	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成

9	和装・洋装スタイル⑥	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
10	和装・洋装スタイル⑦	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
11	和装・洋装スタイル⑧	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
12	卒業制作①	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
13	卒業制作②	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
14	卒業制作③	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセラーメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーカウンセラーメイクⅠ		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	4
時間数					60
使用教材	メイク道具一式、ブランドコスメ メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト） 化粧品検定協会テキスト		出版社	株式会社ユアサポート 主婦の友社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する。 スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する。				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。 スキンケアの基礎知識を深めお客様の悩みお解消できるよになる。				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス、日本化粧品検定3級・2級				
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅡ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	田村 英子、他1名	実務経験	○		
実務内容	サロンワーク、撮影、メイクショーなどメイク現場を10年ほど経験。後にコスメコンシェルジュインストラクターを取得し、メイクと化粧品、肌知識について教授する授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/対策①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習
2	アドヴァンス検定対策②	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
3	アドヴァンス検定対策③	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
4	アドヴァンス検定対策④	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
5	アドヴァンス検定対策⑤	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
6	アドヴァンス検定対策⑥	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
7	アドヴァンス検定対策⑦	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策

8	アドヴァンス検定対策⑧	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
9	化粧品検定級対策① 間違いな美容知識をチェック	1年次復習
10	化粧品検定級対策② 皮膚・肌について知ろう	皮膚の構造～皮膚の機能(大項目)
11	化粧品検定級対策③ 肌の手入れと正しい知識	メイクアップの基本テクニック～肌悩みに応じた化粧品の使い方(大項目)
12	化粧品検定級対策④ 肌の手入れと正しい知識	肌タイプと見分け方～肌悩みに原因とお手入れ(大項目)
13	化粧品検定級対策⑤ 美肌・美ボディ生活を送るには	肌を劣化させるさまざまな要因～美しい肌を作る生活習慣(大項目)
14	化粧品検定級対策⑥ 復習	化粧品検定2級受験に向けての復習
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセラーメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーカウンセラーメイクⅡ		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	4
時間数					60
使用教材	メイク道具一式、ブランドコスメ メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト） 化粧品検定協会テキスト		出版社	株式会社ユアサポート 主婦の友社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する。 スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する。				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。 スキンケアの基礎知識を深めお客様の悩みお解消できるよになる。				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス				
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅠ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール
2	BCの仕事、百貨店とは・化粧品メーカーの組織・身だしなみについて	意識付け/ハンドデモを入れた一連の接客デモンストレーション ※各校判断で企業とタイアップ
3	製品特徴・アプローチ法	各カテゴリーごとの製品の役割、種類、特徴、メリットデメリット、選ぶ基準等
4	化粧品と法律（医薬部外品等）、化粧品の定義、成分表示	ナチュラルコスメとオーガニックコスメの違いなども含め興味を持つ
5	カウンセリングの流れ・ロープレ	カウンセリングの流れを確認
6	接客について、おもてなしの心、クレーム、スキンケア	接客する際の注意点、おもてなしとは、クレームの事例対処 肌の仕組みを学ぶ、季節ごとの肌変化
7	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代別の肌悩みを知る メイクアップのアドバイスの仕方を学ぶ
8	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案

9	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案
10	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて①	オンラインで行う際のお客様へ商品のご提案
11	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて②	商品をPRする方法(写真映え、加工、キャッチコピー)
12	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて③	商品をPRする方法(写真映え、加工、キャッチコピー)、SNS投稿検証
13	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて④	オンラインでカウンセリングを行う時に対応方法 カウンセリングの方法
14	総復習	テスト、振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイクⅠ			
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイクⅠ			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45	
使用教材	メイク道具一式、ヘアアレンジ道具一式、 ブライダル雑誌		出版社	なし		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。 現場を意識した技術を出せるようになる。				
到達目標	ブライダルメイクの基礎を理解し実践でできるようになる。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3/2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	杉山 智明、他1名	実務経験		○	
実務内容	CMや広告、ショー、ブライダルのヘアメイクや参列者へのヘアメイクの経験を活かし、基礎から応用の知識や技術を習得させる授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 基本知識	授業の目的目標、評価基準、授業ルール ブライダルプランニング、ヘアメイクの仕事、衣装の種類
2	ブライダル概論・基礎知識・カラージュ 作成	挙式の種類・挙式と披露宴会場とスタイル・ブライダル用語
3	洋装①	ブライダルメイクの基本(ベースメイク)
4	洋装②	ブライダルメイクの基本(ポイントメイク)
5	洋装③	ブライダルメイクの基本(ドレス別)
6	洋装④	お色直しの方法、ヘア概論
7	洋装⑤	テスト、振り返り
8	ゲストメイク①	ドレス別ヘアメイク

9	ゲストメイク②	お母様 黒留袖メイク
10	和装①	基礎知識(歴史、かつら、専門用語)
11	和装②	白無垢化粧の練習を入れる
12	和装③	色打掛・引き振袖(黒)
13	和装④	白無垢化粧
14	和装⑤	白無垢化粧
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式、ヘアアレンジ道具一式、 ブライダル雑誌		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。 現場を意識した技術を出れるようになる。				
到達目標	ブライダルメイクの基礎を理解し実践でできるようになる。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	白ドレス～色ドレス～までの流れ	*ドレス補正ポイントメイキング&インナーについて(導入、実践)
2	お色直しの基本知識	和装 →洋装 →連の流れの実習 (導入、実践)
3	ゲストヘアメイク	シーンに応じたヘアメイク (導入、実践)
4	着物ヘアメイク①	着物スタイル
5	着物ヘアメイク②	理論・着物別・年齢別のメイク
6	成人式ヘアメイク	理論・着物別・年齢別のメイク 基本知識とテクニック
7	七五三ヘアメイク	七五三の歴史・由来・小物・着物
8	パーティーヘアメイク	シーンに応じたヘアメイク

9	テスト	テスト、振り返り
10	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
11	卒業制作②	卒業制作(実践)
12	卒業制作③	卒業制作(実践)
13	卒業制作④	卒業制作
14	卒業制作⑤	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	特殊メイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	特殊メイクⅠ		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	2
時間数	45				
使用教材	メイク道具一式・エアブラシ道具・ボディージュエリー道具、その他特殊用品等		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする				
到達目標	特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	久保 妃奈子、他1名	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアーティストとして、CMや広告、ショーなどの現場でファッションヘアメイクを経験。この経験を基に、ヘアメイクの基礎から応用までを習得させる授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 老人メイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法) 老人メイク導入
2	老人メイク②	老婆のメイクを実践する
3	老人メイク③	老父のメイクを実践する
4	舞台メイク①	舞台メイク導入
5	舞台メイク②	舞台の女役メイクを実践する
6	舞台メイク③	舞台の男役メイクを実践する
7	舞台メイク④	テスト
8	ボディアート	ボディアート等の実践

9	キャラクターメイク①	テーマに合わせたメイクを実践する
10	キャラクターメイク②	テーマに合わせたメイクを実践する
11	キャラクターメイク③	テーマに合わせたメイクを実践する
12	キャラクターメイク④	テーマに合わせたメイクを実践する テスト、振り返り
13	傷メイク①	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの導入
14	傷メイク②	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの実践
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	特殊メイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	特殊メイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式・エアブラシ道具・ボディージュエリー道具、その他特殊用品等		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする。				
到達目標	特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める。 メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	アニマルメイク①	テーマに基づいたメイクの導入・実践
2	アニマルメイク②	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
3	アニマルメイク③	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
4	アニマルメイク④	デッサンシートの基づいたメイク(テスト、振り返り)
5	日本の伝統メイク①	テーマに基づいたメイクの導入・実践
6	日本の伝統メイク②	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
7	日本の伝統メイク③	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
8	ボディーパーセント①	テーマに基づいたメイクの導入・実践
9	ボディーパーセント②	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践

10	ボディペイント③	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
11	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
12	卒業制作②	卒業制作(実践)
13	卒業制作③	卒業制作(実践)
14	卒業制作④	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	アーティストメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	アーティストメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス (デジタルテキスト)		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする				
到達目標	トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身につける。 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身につける。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	フォト&ファッションⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	門井 彩	実務経験		○	
実務内容	美容室勤務8年/劇場ヘアメイク8年/テーマパークヘアメイク2年。 サロンワーク経験を経てヘアアレンジやメイクデザイン等、特殊メイクを主に経験し幅広いヘアメイクの授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ベースメイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 ベースメイク導入、実践
2	ベースメイク② ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	ショーメイク①	立体感や骨格をとらえたメイク(導入、実践)
4	ショーメイク②	Wラインの使ったメイク(導入、実践)
5	ショーメイク③	グリッター・メイク用品のデコレーション素材の使い方(導入、実践)
6	ショーメイク④	色の発色、グラデーションの見せ方(導入、実践)
7	ショーメイク⑤	テーマに沿った、フルメイク(テスト、振り返り)

8	スチールメイク①	フォトコンで行うメイク制作(導入、実践) テーマに合わせて行う
9	スチールメイク②	フォトコンで行うメイク制作(実践) テーマに合わせて行う
10	スチールメイク③	フォトコンで行うメイク制作(テスト) テーマに合わせて行う
11	スチールメイク④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
12	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践) テーマに合わせて行う
13	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
14	トレンドメイク③	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	アーティストメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	アーティストメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式、メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト）	出版社	なし		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できる。				
到達目標	トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身につける。様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身につける。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	フォト&ファッションⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	メイクの歴史	古代～中世～近代のメイクについて (時代背景や特徴について)
2	年代別のメイク①	年代別 20、30、40
3	年代別のメイク②	年代別 50
4	年代別のメイク③	年代別 60
5	年代別のメイク④	年代別 70、80
6	年代別のメイク⑤	年代別 90、2000
7	年代別のメイク⑥	年代別の技術まとめ フルメイクテスト、振り返り
8	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)

9	卒業制作②	卒業制作(実践)
10	卒業制作③	卒業制作(実践)
11	卒業制作④	卒業制作(実践)
12	卒業制作⑤	卒業制作(実践)
13	卒業制作⑥	卒業制作(実践)
14	卒業制作⑦	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	フォト&ファッションⅠ			
必修選択	選択	(学則表記)	フォト&ファッションⅠ			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15	
使用教材	【フォト】カメラ機材 【ファッション】スマホアプリ(VOGUE RUNWAY等)、雑誌(VOGUE/MODE ET MODE等) 共通→筆記用具・ノート・ファイル		出版社	なし		

科目の基礎情報②

授業のねらい	【フォト】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によってはの注意点等を理解し、実践力を身につける。 【ファッション】ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める。				
到達目標	【フォト】色・光・影の出方によるメイク映えを知る/撮影中の注意事項を理解する。 【ファッション】トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	アーティストメイクⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	門井 彩、他1名	実務経験		○	
実務内容	美容室勤務8年/劇場ヘアメイク8年/テーマパークヘアメイク2年。 サロンワーク経験を経てヘアアレンジやメイクデザイン等、特殊メイクを主に経験し幅広いヘアメイクの授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 光と影について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	写真のバランス・レイアウト	レイアウトやモデルのポージングについて
3	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 カメラの構え方やレンズの使い方を知る
4	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 露出補正を使いながら意図する明るさで撮る
5	カメラの使い方	撮影のフィードバックとレンズワークによる遠近感の変化 絞りやレンズワークによる背景のボケ方の説明
6	レフの使い方	室内でレフを使った撮影練習

7	作品作り①	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
8	作品作り②	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
9	スチール①	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
10	スチール②	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
11	スチール③	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
12	テスト	作品作りに合わせてテスト、振り返り
13	作品作り③	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
14	作品作り④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	フォト&ファッションⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フォト&ファッションⅡ		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	1
時間数					15
使用教材	【フォト】カメラ機材 【ファッション】スマホアプリ(VOGUE RUNWAY等)、雑誌 (VOGUE/MODE ET MODE 等) 共通⇒筆記用具・ノート・ファイル		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【フォト】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によってはの注意点等を理解し、実践力を身につける。 【ファッション】ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める。				
到達目標	【フォト】 色・光・影の出方によるメイク映えを知る/撮影中の注意事項を理解する。 【ファッション】 トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3/2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	アーティストメイクⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション メイクとの関連について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 メイクとファッションの繋がりに関する
2	服の歴史について①	服の成り立ち(古代～中世)
3	服の歴史について②	服の成り立ち(中世～近代)
4	コレクションについて①	コレクション開催4都市について コレクションの歴史
5	コレクションについて②	コレクションブランドについて (シーズンサイクルなど)
6	コレクションについて③	オートクチュール
7	コレクションについて④	プレタポルテ(レディース・メンズ)

8	コレクションについて⑤	コレクションの歴史と開催都市等のまとめテスト
9	トレンドについて①	雑誌、SNSの見方と情報収集
10	トレンドについて②	トレンド研究を行う
11	ファッションデザイナー	雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる
12	テスト	テスト
13	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画（コンセプトシートの作成）
14	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画（コンセプトシートの作成）
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅠ-D		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅠ-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	① マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。 ② 「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身につけるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身につける。 ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	①実技試験60%/授業態度・提出物など20% ②レポート20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	須藤 直美/桐淵 圭子	実務経験	○		
実務内容	(須藤) エステティックサロン勤務歴2年 (桐淵) エステティックサロン勤務歴6年 これまでの経験を活かし、顧客管理から、サロン運営までを習得させる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入 サロン立ち上げ企画	サロンマネジメントについて ・サロンワークの目的・運営方法について 接客マナーについて・サロン作り ・メニュー考案(ディスカッション等)広報ツール作成
2	コンテスト サロン立ち上げ	コンテストについての導入 サロン作りについて
3	コンテスト	コンテスト外部講師 講話・実践 相モデル実技・コンテスト指導 (講師)
4	コンテスト	選考会 (日程詳細発信次第で変更)
5	e'm u	目標立て・ショーのテーマ決め・各セクション・モデル決定 スケジュール立て・デッサンシート作成・作業
6		
7		
8		
9		

10	A E A 対策	実技・口頭試問対策（A E A の日程によってe'mu準備と入れ替える）
11		
12	サロン立ち上げ	プレオープン準備
13		
14	プレオープン	プレオープン
15	総合授業	総まとめを行う
16	サロンオープン導入	後期のサロンオープンについて
17	外部講師	より実践的なサロンオープンについて
18		
19	サロンワーク	サロン実習 適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26	サロンワーク	サロン実習 適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する
27		
28	A J E S T H E 検定対策	実技・口頭試問
29		
30	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ-D		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークⅡ-D		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	2
時間数	60				
使用教材	ケースで学ぶ理美容業の接客マナー (教員用のみ) 関連科目の使用教材一式		出版社	早稲田教育出版 他	

科目の基礎情報②

授業のねらい	① マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う力、現場力を身につける。 ② 「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けて実践することができる。 ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	テスト・小テスト：60% 授業態度：10% 提出物：20% レポート：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	エステティックカウンセリングⅢ、アロマセラピー総論Ⅱ、フェイシャル&ボディⅡ ネイルケア&ネイルアートⅡ、パーソナルヘア&メイクⅡ、ヨガ・ピラティスⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	美容総合授業	目標立て・ショーのテーマ決め・各セクション・モデル決定 スケジュール立て・デッサンシート作成
2		構成シート作成・ドレス決定・演出決め・BGMシート作成・デッサンシート完成
3		
4		BGM・映像・ヘアメイク練習
5		
6		モデルウォーキング・各セクション、動きの確認
7		
8		ショー通しリハーサル

9		
10	サロンワーク技術練習	
11		
12		
13		対応方法など様々な視点からチェックしていく
13	サロンワーク技術練習・小テスト	基本的には外部の方をお客様として招き、サロンを運営することを目的する (授業の空き教員や姉妹校教員にもお客様としてモデルをお願いしたり相モデルを設定して工夫して授業を進める)
14	サロンワーク技術練習	サロンのメニューや集客方法、フライヤー作成など、すべての運営を生徒たちに考えて学ばせる
15		接客などの理解を確認するために、テストも実施
16		金銭授受の目標を立て実践する
17		サロンワーク技術練習・テスト
18	サロンワーク技術練習	
19	振り返り	
20	総合授業	総まとめを行う
21	サロンワーク技術練習	
22		
23		様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を行う
24		施術時間・道具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点からチェックしていく
25	サロンワーク技術練習・小テスト	基本的には外部の方をお客様として招き、サロンを運営することを目的する (授業の空き教員や姉妹校教員にもお客様としてモデルをお願いしたり相モデルを設定し工夫して授業を進める)
26	サロンワーク技術練習	サロンのメニューや集客方法、フライヤー作成など、すべての運営を生徒たちに考えて学ばせる
27		接客などの理解を確認するために、テストも実施
28		
29		振り返り
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワーク I - E		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワーク I - E		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	必要に応じたヘアメイク道具一式、筆記用具類		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身につける。 コミュニケーション力を身につける。				
評価基準	レポート(テスト対応の場合有)50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ビューティーカウンセラーメイク I II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	東間 浩子	実務経験	○		
実務内容	美容師免許を取得後、メイクアップアーティストとしてヘアメイク事務所で約2年勤務。アイリストと眉のワックス脱毛やデザインをするサロンで2年程勤務。メイクの基礎やまつ毛エクステンションの基礎知識や実技を活かす授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける
2	1年次復習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習	

7	サロンワーク技術練習	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ ・BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける 	
8	サロンワーク技術練習		
9	サロンワーク技術練習		
10	サロンワーク技術練習		
11	サロンワーク技術練習		
12	サロンワーク技術練習・テスト		
13	サロンワーク技術練習		
14	振り返り		
15	総合授業		総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ-E		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡ-E		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	必要に応じたヘアメイク道具一式、筆記用具類		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身につける。 コミュニケーション力を身につける。				
評価基準	レポート(テスト対応の場合有)50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク技術練習	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
2	サロンワーク技術練習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習	
7	サロンワーク技術練習	

8	サロンワーク技術練習	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
9	サロンワーク技術練習	
10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	振り返り	
15	総合授業	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ－Ⅲ／A E Aテキスト(各項目)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に与える知識を身につける。				
到達目標	A E A 上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 技術力確認試験 合格基準				
評価基準	筆記試験 40%・コンサルテーション 40%・授業態度、提出物など 20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	A E A 上級認定エステティシャン 技術力確認試験				
関連科目	プロフェイシャル(ヒーリング)・プロボディⅡ・トリートメント・サロンワーク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年振り返り	1年生の振り返り
2	コンサルテーションシートの記入について	A E A コンサルテーションシート 記入方法
3		
4	体のバランスと肥満	姿勢の判断や肺葉型とその特徴 内臓脂肪型と皮下脂肪型
5	女性ホルモンとストレスと睡眠 セルライトと水分滞留	内分泌系の関わりとストレスと睡眠 セルライトの段階 水分滞留の判定
6	ホームケアアドバイス ボディ	運動学・栄養学・食事指導
7	ホームケアアドバイス フェイシャル	運動学・栄養学・食事指導

8	筆記試験	成績評価① 範囲4～7回まで
9	A E A上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入 (ボディ・フェイシャル) 口頭試問 成績評価②
10		
11		
12	コンサルテーションシートの記入について	肌トラブル別の理論（原因・症状・改善策など） 運動生理について
13	コンサルテーションシートの記入について	肌トラブル別の理論（原因・症状・改善策など） 運動生理について
14	口頭試問対策	肌トラブル別の理論・運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価③
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ～Ⅲ A E Aテキスト (各項目)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に与える知識を身につける。				
到達目標	A E A 上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 技術力確認試験 合格基準				
評価基準	筆記試験 40% ・ コンサルテーション 40% ・ 授業態度、提出物など 20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席が総時間数の 3分の2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者 				
関連資格	A E A 上級認定エステティシャン 技術力確認試験				
関連科目	プロフェイシャル(ヒーリング) ・ プロボディⅡ ・ トリートメント ・ サロンワーク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	エステ研修
2		
3	技術力確認試験 筆記試験対策	技術力確認試験範囲 コンサルテーション
4		
5		
6		
7		

8	筆記試験	成績評価③ 技術力確認試験 模試
9	卒業判定試験 対策	卒業判定試験を各校で設定 成績評価④ 総合テスト(筆記かロープレ)
10		
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロントリートメントⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	サロントリートメントⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 A E Aテキスト西洋・東洋のセラピー クリエース化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。 C I D E S C O国際ナショナル合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	C I D E S C O国際ナショナル				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	桐淵 圭子	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロン勤務歴6年。これまでの経験を活かし、顧客管理から、サロン運営までを習得させる授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	トリートメント オリエンテーション	研究レポートについて説明・テーマの決定 レポートの作成方法・期日の説明
2	機器の使用方法 症例紹介	ボディ、フェイシャル機器の使用法の説明 具体的な症例と組み合わせ方
3	機器の使用方法 (ボディ)	症例研究レポートで使用する機器の練習 (ボディ)
4	機器の使用方法 (フェイシャル)	症例研究レポートで使用する機器の練習 (フェイシャル)
5	ハイドロセラピー タラソセラピー	理論 タラソセラピーとは歴史・効果/注意・禁忌事項・応用
6	ボディバック・ラップ	試験内で使用するボディバック・ラップの導入・実践

7		
8		
9		
10	研究研究レポートの為 ケースワーク	症例研究レポートの導入 実践 (クライアント)
11	クライアント	
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロントリートメントⅡ			
必修選択	選択	(学則表記)	サロントリートメントⅡ			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45	
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 A E Aテキスト西洋・東洋のセラピー クリエース化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会		

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。 C I D E S C O国際ナショナル合格基準				
評価基準	実技試験 60% / 小テスト 20% / 授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	C I D E S C O国際ナショナル				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	研究レポートの為に ケースワーク	症例研究レポートの仕上げ
2	ベディキュア	ベディキュア デモ・練習
3		
4		
5	東洋医学	理論/東洋式と西洋式の違い・東洋式について(経絡・経穴)
6	リフレクソロジー	基本手技/東洋式・西洋式

7	ストーンセラピー	ストーンマッサージ手技・歴史など
8	代替療法	インド伝統医学の考え方と療法（理論）
9	アーユルヴェーダ	アーユルヴェーダマッサージ（実技）
10	リンパドレナージュ	理論 リンパドレナージュとは（歴史・効果）/リンパ液・リンパ節について
11		理論 リンパドレナージュ/注意・禁忌事項など基本手技/下肢後面・腰背部
12	復習	実技試験対策・ 用具類の衛生について
13	マッサージ・マスク	クライアントに応じてコンサルテーションシートを仕上げる +マッサージ・メイク練習
14	ネイル(ペデュキュア)・メイクアップ	クライアントに応じてコンサルテーションシートを仕上げる +マッサージ・ネイル練習
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロボディⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ A E Aテキスト10冊セット・クリエーナ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	A E A上級認定エステティシャン合格基準 A J E S T H E 認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	A E A上級認定エステティシャン A J E S T H E 認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	桐淵 圭子 他1名	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロン勤務歴6年。これまでの経験を活かし、顧客管理から、サロン運営までを習得させる授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	自己紹介・前期授業内容の説明、履修目標について解説 ボディ用化粧品ガイダンス・2年より導入の化粧品の導入（目的、効果、成分、使用方法等） 1年次の復習（ボディチェック+マッサージ）
2	ボディ分析 コンサルテーションシートの記入	ボディチェック・運動生理学・姿勢・ポジショニング・採寸 AEAコンサルテーションシートの記入方法について
3		低周波
4	ボディ電気機器 交流電流	□答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
5		
6	ボディ電気機器 サクション	サクション □答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
7		

8	A E A 上級	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 成績評価① 模擬試験
9	エステティシャン 試験対策	
10		
11	ボディ電気機器	G 5 □ 答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※ 連動教科：総論→電気学
12	G 5	
13	ボディ機器総合	ボディ機器 総合復習
14		ボディ機器 総合復習 成績評価② 機器総合
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロボディⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ A E Aテキスト10冊セット・クリエーナ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	A E A 上級認定エステティシャン合格基準 A J E S T H E 認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	A E A 上級認定エステティシャン A J E S T H E 認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	桐淵 圭子 他1名	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロン勤務歴6年。これまでの経験を活かし、顧客管理から、サロン運営までを習得させる授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 脱毛理論	脱毛理論/体毛について毛髪学/成分/ワックス脱毛の目的と効果/成分/注意事項・禁忌事項 デモンストレーション
2	脱毛 Wax (Warm)	ワックス実技演習（腕・足） 成績評価① 脱毛試験
3		
4		
5	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説

6		
7	ボディテクニック総合	<p>カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択 ボディマッサージ アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 wax脱毛 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。</p>
8	クライアント実習	
9		
10		
11	A J E S T E 上級 エステティシャン	<p>【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 脱毛含む 成績評価② 模擬試験</p>
12	試験対策	
13		
14	ボディテクニック総合	ボディテクニック総合 復習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルⅡ-B		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルⅡ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	90
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエーション化粧品セット タオル類・消耗品類・筆記用具・フェイシャル化粧品		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合(資格試験対応)クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準を目指す。 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準を目指す。				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	牛渡 千穂	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロン勤務歴6年の経験を活かし、資格取得に向けて機器の使用や接客マナーを指導する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プロフェイシャルⅡ オリエンテーション	1コマ 担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説 前期の振り返り 接客の基礎実践 ディープクレンジング復習
2	フェイシャル化粧品ガイダンス マスク(肌別・形状別)	2年より導入のフェイシャル化粧品の導入 (目的、効果、成分、使用法等)
3	フェイシャル電気機器	イオントフォーレーゼ・ディスインクラステーション 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科
4	直流電流	(総論→電気学 ボディ→ガルバニック)
5	AEA上級	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
6	エステティシャン 試験対策	
7		

8	A E A 模擬試験	成績評価①
9	フェイシャル電気機器	バター 実技理論・デモンストレーション含む
10	サクション	※連動教科 (総論→解剖生理学 ボディーサクション)
11	フェイシャル電気機器	高周波 (直接法・間接法・閃光法)
12	高周波	実技理論・デモンストレーション含む
13	オリジナルマッサージ スウェディッシュマッサージ練習	オリジナルマッサージ デモンストレーション・実践
14	フェイシャル総合授業	成績評価②
15	総合授業	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルⅢ－B		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルⅢ－B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	90
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ/Ⅱ 理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット クリエース化粧品セット タオル類・消耗品類・筆記用具・フェイシャル化粧品 ネイル・メイクアップ教材一式		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準を目指す。 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準を目指す。				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論（上級）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	牛渡 千穂	実務経験		○	
実務内容	エステティックサロン勤務歴6年の経験を活かし、資格取得に向けて機器の使用や接客マナーを指導する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	肌別・トラブル別の選択	【3コマ】カウンセリングシート作成・選択理由・目的・効果 【3コマ】メイク・ネイルいずれかを実施
2	皮膚生理学・香粧品学・機器	【3コマ】口答試問対策・解説・禁忌事項・操作方法 【3コマ】メイク・ネイルいずれかを実施
3	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説・小テスト
4	オリジナルマッサージ	オリジナルマッサージ
5	スウェディッシュマッサージ練習	デモンストレーション・実践

6		
7	A J E S T H E 上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
8		
9	模擬試験	成績評価③
10		
11	・フェイシャルテクニック総合 ・クライアント実習	・クレンジング・カウンセリング（肌分析） ・ディープクレンジング・電気トリートメント ・マッサージ・マスク・仕上げ・メイク・ネイル ・アフターカウンセリング
12		
13		
14	フェイシャルテクニック総合	フェイシャルエステティック総合復習 成績評価④
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅰ-B		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅰ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ-Ⅲ A E Aテキスト (各項目)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合(資格試験対応)を学ぶ。 ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学				
到達目標	A E A 上級認定エステティシャン筆記試験合格(前期)を目指す。 A J E S T H E 認定上級エステティシャン合格基準(後期)を目指す。				
評価基準	筆記試験60%/小テスト・ケースワーク20%/授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	A E A 上級認定エステティシャン A J E S T H E 認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャル(上級)Ⅱ・プロフェイシャル(上級)Ⅲ・サロントリートメント・サロンワーク(エステ)・ エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	須藤 直美	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロン勤務歴2年間の経験を活かし、エステティック知識を身に付けさせエステ全般の知識・技術を習得させる授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	救急法	・救急法の基礎知識・一次救命処置・主な症状の救急手当・主な事故の手当て
2	電気理論	・電気が生じるしくみ ・化学結合の種類 ・電気の基礎知識
3	人体と電気 エステティック機器の種類と原理	・体の中の電気のしくみ ・エステティックにおける生体電気の利用
4	皮膚の構造・生理機能	・皮膚の構造と生理機能
5	トラブル肌と皮膚疾患	・接触性皮膚炎・アレルギー性疾患
6	トラブル肌と皮膚疾患 筆記試験	・アトピー性皮膚炎 ・その他の主な皮膚疾患 成績評価①
7	人体のあらまし細胞・組織・器官	・人体のあらまし ・人体の成り立ち
8		

9	人体の器官系感覚器系・ 消化器系	・感覚器（感覚器のあらまし・各感覚器の構造と働き） ・消化器系（消化器系のあらまし・各消化器官のの構造と働き）
10		
11	化粧品と薬機法 化粧品の品質と品質特性	・化粧品と医薬品医療機器等法 ・化粧品の品質と品質特性 ・化粧品の分類と特徴
12	AEA上級認定E 演習問題	・AEA問題集の解説を行いながら検定対策をする
13		
14		
15	筆記試験	・模擬試験・成績評価②
16	前期の振り返り	・総まとめ・前期の振り返り
17	脱毛学 ※プロボディⅡにて実技導入	・毛髪学概論・毛と毛包の構造
18		・発毛のしくみと毛周期 ・美容脱毛技術者として知っておきたい病気
19	認定上級E筆記対策 (内ホメオスタシス6時間) 1年・2年次の不足の補填	・検定対策テキストの内容を実施・小テスト
20		
21		
22		
23		
24	筆記試験	・成績評価③・AJESTHE上級 模試
25	認定上級E 実技対策	・AJESTHE上級試験範囲 ・コンサルテーション ・口頭試問 ・実技試験対策 ・成績評価④ ケースワーク
26		
27		
28		
29		
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅱ-B		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅱ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ-Ⅲ A E Aテキスト (各項目)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合(資格試験対応)を学ぶ。 ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学				
到達目標	A E A 上級認定エステティシャン筆記試験合格(前期)を目指す。 A J E S T H E 認定上級エステティシャン合格基準(後期)を目指す。				
評価基準	筆記試験60%/小テスト・ケースワーク20%/授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	A E A 上級認定エステティシャン A J E S T H E 認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャル(上級)Ⅱ・プロフェイシャル(上級)Ⅲ・サロントリートメント・サロンワーク(エステ)・ エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	須藤 直美	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロン勤務歴2年間の経験を活かし、エステティック知識を身に付けさせエステ全般の知識・技術を習得させる授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	救急法	・救急法の基礎知識・一次救命処置・主な症状の救急手当・主な事故の手当て
2	電気理論	・電気が生じるしくみ ・化学結合の種類 ・電気の基礎知識
3	人体と電気 エステティック機器の種類と原理	・体の中の電気のしくみ ・エステティックにおける生体電気の利用
4	皮膚の構造・生理機能	・皮膚の構造と生理機能
5	トラブル肌と皮膚疾患	・接触性皮膚炎・アレルギー性疾患
6	トラブル肌と皮膚疾患 筆記試験	・アトピー性皮膚炎 ・その他の主な皮膚疾患 成績評価①
7	人体のあらまし細胞・組織・器官	・人体のあらまし ・人体の成り立ち
8		

9	人体の器官系感覚器系・ 消化器系	・感覚器（感覚器のあらまし・各感覚器の構造と働き） ・消化器系（消化器系のあらまし・各消化器官の構造と働き）
10		
11	化粧品と薬機法 化粧品の品質と品質特性	・化粧品と医薬品医療機器等法 ・化粧品の品質と品質特性 ・化粧品の分類と特徴
12		
13	A E A 上級認定 E 演習問題	・ A E A 問題集の解説を行いながら検定対策をする
14		
15	筆記試験	・模擬試験・成績評価②
16	前期の振り返り	・総まとめ・前期の振り返り
17	脱毛学	・毛髪学概論・毛と毛包の構造
18	※プロボディ II にて実技導入	・発毛のしくみと毛周期 ・美容脱毛技術者として知っておきたい病気
19		
20		
21	認定上級E筆記対策 (内ホメオスタシス6時間) 1年・2年次の不足の補填	・検定対策テキストの内容を実施・小テスト
22		
23		
24	筆記試験	・成績評価③・A J E S T H E 上級 模試
25		
26		
27	認定上級 E 実技対策	・ A J E S T H E 上級試験範囲 ・コンサルテーション ・口頭試問 ・実技試験対策 ・成績評価④ ケースワーク
28		
29		
30	総合授業	・総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる。				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得する。				
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケアⅡ・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ・検定対策&スカルプチュアⅠ／Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	①幸田弘美 ②原島亜紀	実務経験	○		
実務内容	<p>① JNA 常任本部講師12年、JNEC ネイリスト技術検定試験試験官の経験を活かし合格へと導けるような授業を展開する。</p> <p>② JNA 日本ネイリスト協会認定講師、スクール講師の経験を活かし合格へと導き、更に就職後にも価値のある技術取得へ繋がる授業を展開する。</p>				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 1年次の復習	1年間の授業の流れ 1年次のジェルネイルの復習
2	JNEC 2級検定の振り返り ジェル中級対策①	JNEC 2級の振り返り ジェル中級に向けて実技練習
3	ジェル中級対策②	ジェル中級に向けて実技練習
4	ジェル中級対策③	ジェル中級に向けて実技練習
5	ジェル中級対策④	ジェル中級に向けて実技練習
6	ジェル中級対策⑤	ジェル中級に向けて実技練習

7	JNEC1級対策① または ジェル中級対策⑥	JNEC1級検定のセッティング及び流れを覚える
8	JNEC1級対策②	JNEC1級検定のセッティング及び流れを覚える
9	JNEC1級筆記模擬試験・対策	1級試験 筆記試験対策
10	JNEC1級対策③	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
11	JNEC1級対策④	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
12	JNEC1級対策⑤	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技対策	筆記テスト 実技対策
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる。				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得する。				
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケアⅢ・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ・検定対策&スカルプチュアⅠ／Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	①幸田弘美 ②原島亜紀	実務経験	○		
実務内容	<p>① JNA 常任本部講師12年、JNEC ネイリスト技術検定試験試験官の経験を活かし合格へと導けるような授業を展開する。</p> <p>② JNA 日本ネイリスト協会認定講師、スクール講師の経験を活かし合格へと導き、更に就職後にも価値のある技術取得へ繋がる授業を展開する。</p>				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	JNEC1級対策①	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
2	JNEC1級対策②	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
3	ジェル上級対策①	ジェル上級検定について 説明と実技練習
4	ジェル上級対策②	ジェル上級に向けて実技練習
5	ジェル上級対策③	ジェル上級に向けて実技練習
6	ジェル上級対策④	ジェル上級に向けて実技練習
7	ジェル上級対策⑤	ジェル上級に向けて実技練習

8	ジェル上級対策⑥	ジェル上級に向けて実技練習
9	ジェル上級対策⑦	ジェル上級に向けて実技練習
10	ジェル上級対策⑧	ジェル上級に向けて実技練習
11	ジェル上級対策⑨	ジェル上級に向けて実技練習
12	実技練習	振り返りの実施
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技練習	筆記テスト 実技練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&スカルプチュアⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&スカルプチュアⅠ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術を習得する。				
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルを習得する。				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	①原田実保 ②村松美幸		実務経験	○	
実務内容	<p>①ネイルサロン勤務歴20年/日本ネイリスト協会常任認定講師。 ネイリスト技能検定、ジェルネイル検定の試験官の経験を活かし、検定合格に向けて授業を行う。</p> <p>②ネイルサロン勤務歴6年/日本ネイリスト協会本部認定講師。 検定やサロンで通用するスカルプチュアの技術取得に向けて指導を行う。</p>				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 1年次の復習 1級実技説明	1年間の授業の流れ 1年次及びJNEC2級の復習をしJNEC1級に向けて実技練習
2	JNEC1級対策①	1級検定のセッティング及び流れを覚える
3	JNEC1級対策②	1級検定のセッティング及び流れを覚える
4	JNEC1級対策③	1級検定のセッティング及び流れを完全にマスターする
5	JNEC1級対策④	1級検定のセッティング及び流れを完全にマスターする
6	JNEC1級対策⑤	JNEC1級検定に向けての実技練習

7	JNEC1級対策⑥	JNEC1級検定に向けての実技練習
8	JNEC1級対策⑦ 筆記テスト	JNEC1級検定に向けての実技練習 筆記テスト
9	JNEC1級対策⑧	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
10	JNEC1級対策⑨	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
11	JNEC1級対策⑩	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
12	JNEC1級対策⑪	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
13	実技テスト	実技テスト
14	実技テスト	実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&スカルプチュアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&スカルプチュアⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術を習得する。				
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルを習得する。				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	①原田実保 ②村松美幸		実務経験	○	
実務内容	①ネイルサロン勤務歴20年/日本ネイリスト協会常任認定講師。 ネイリスト技能検定、ジェルネイル検定の試験官の経験を活かし、検定合格に向けて授業を行う。 ②ネイルサロン勤務歴6年/日本ネイリスト協会本部認定講師。 検定やサロンで通用するスカルプチュアの技術取得に向けて指導を行う。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	JNEC1級検定内容確認 (筆記・実技)	1級検定について注意事項説明・筆記対策と実技練習
2	JNEC1級対策①	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
3	JNEC1級対策②	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
4	スカルプチュア①	クリアスカルプチュア 実技10本
5	スカルプチュア②	グラデーションスカルプチュア 実技10本
6	スカルプチュア③	グラデーションスカルプチュア 実技10本

7	スカulpture④	フレンチスカulpture デモ・実技
8	スカulpture⑤	フレンチスカulpture 実技
9	スカulpture⑥	フレンチスカulpture 実技 バーチャルフレンチスカulpture デモ
10	スカulpture⑦	スピードスカulpture 相モデルで10本 ナチュラル使用
11	スカulpture⑧	スピードスカulpture 相モデルで10本 ナチュラル使用
12	スカulpture⑨	ジェルを載せるときのサロンでの長さだしの練習
13	筆記試験 実技試験	筆記試験 実技試験
14	実技試験	実技試験
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる。				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、ジェル検定上級まで取得する。				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケアⅡ・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	①幸田弘美 ②原島亜紀	実務経験	○		
実務内容	<p>①ネイルサロン勤務、経営14年/日本ネイリスト協会常任本部認定講師として様々な経験を活かし、ジェル検定合格と実践力を身につけられるような指導をしていく。</p> <p>②JNA日本ネイリスト協会認定講師/スクール講師の経験を活かし合格へと導き、更に就職後も価値のある技術取得へ繋がる授業を展開する。</p>				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材確認 ジェルデザイン実技①	教材説明・グラデーション・フレンチのデザインを学ぶ
2	ジェルデザイン実技②	シールを埋めるやり方・ラインテープの貼り方・タテグラデ・逆フレンチなど様々なデザインを学ぶ
3	スカルプ(クリア)デモ・実技	ジェルスカルプ(クリア)デモ・実技
4	マシーンオフ・プレパ	マシーンオフとプレパレーション実技
5	マシーンオフ+フィルイン+フィルインベースのせ	マシーンオフ+フィルイン+フィルインベースのせ実技
6	中級検定実技①	中級検定内容を学び技術をマスターする
7	中級検定実技②	中級検定内容を学び技術をマスターする

8	中級検定実技③	中級検定内容を学び技術をマスターする
9	ジェル上級説明、チップオーバーレイデ モ実技	上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモ実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ
10	ジェルチップオーバーレイ 実技	上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモ実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ
11	ジェルアート実技①	上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする
12	ジェルアート実技②	上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技練習	筆記テスト・実技練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる。				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、ジェル検定上級まで取得する。				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケアⅢ・ネイルアートⅢ・検定対策Ⅱ/Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	①幸田弘美 ②原島亜紀		実務経験	○	
実務内容	<p>①ネイルサロン勤務、経営14年/日本ネイリスト協会常任本部認定講師として様々な経験を活かし、ジェル検定合格と実践力を身につけられるような指導をしていく。</p> <p>②JNA日本ネイリスト協会認定講師/スクール講師の経験を活かし合格へと導き、更に就職後にも価値のある技術取得へ繋がる授業を展開する。</p>				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ジェルスカルプ実技	クリア・フレンチのジェルスカルプ実技
2	ジェルスカルプ・チップオーバーレイ実技	クリア・フレンチのジェルスカルプとジェルチップオーバーレイ実技
3	ジェルスカルプ実技(相モデル)	ジェルスカルプ実技(相モデル)
4	上級検定実技①	ジェルネイル検定上級実技
5	上級検定実技②	ジェルネイル検定上級実技
6	上級検定実技③	ジェルネイル検定上級実技タイムトライアル
7	上級検定実技④	ジェルネイル検定上級実技タイムトライアル

8	デザインジェル・実技①	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技
9	デザインジェル・実技②	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技
10	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン①	様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技
11	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン②	様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技
12	ジェル実技(10本)相モデル①	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う
13	ジェル実技(10本)相モデル② 筆記テスト	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う
14	後期実技試験 (上級検定内容)	総復習として実技試験を行なう
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティ科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる。				
到達目標	コンテスト入賞。				
評価基準	授業態度20%・実技テスト80%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	①幸田弘美	②原田実保	実務経験	○	
実務内容	① JNA 常任本部認定講師 東京NAIL EXPO、アジア大会の審査員経験を活かし、楽しくやる気の出る授業を実施する。 ② JNA 常任本部認定講師 東京NAIL EXPO、数々のコンテストの審査員経験を活かし楽しい授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	コンテスト予定確認 モデル選びについて	今後のコンテスト予定を確認し目標を立てさせ技術向上を意識付けする モデル選びの重要性、サロンワークや検定とのコンテストの違いを理解する
2	ケア・カラー①	ジュニア・スチューデントケアの練習
3	ケア・カラー②	ジュニア・スチューデントケアの練習
4	ケア・カラー③	ジュニア・スチューデントケアの練習
5	ケア・カラー④ 実技テスト	ジュニア・スチューデントケア 実技テスト

6	アート①	チップ作成によるアート
7	アート②	チップ作成によるアート
8	アート③	チップ作成によるアート
9	アート④ 作品提出	チップ作成によるアート 作品提出
10	スカルプチュア①	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
11	スカルプチュア②	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
12	スカルプチュア③	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
13	スカルプチュア④	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
14	スカルプチュア⑤ 実技テスト	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ 実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる。				
到達目標	コンテスト入賞。				
評価基準	授業態度20%・実技テスト80%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	①幸田弘美	②原田実保	実務経験	○	
実務内容	①JNA常任本部認定講師 東京NAIL EXPO、アジア大会の審査員経験を活かし、楽しくやる気の出る授業を実施する。 ②JNA常任本部認定講師 東京NAIL EXPO、数々のコンテストの審査員経験を活かし楽しい授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ケア・カラー①	スチューデントケアの練習と共にブロケアとしてフレンチカラーの実技
2	ケア・カラー②	スチューデントケアの練習と共にブロケアとしてフレンチカラーの実技
3	ケア・カラー③ 実技テスト	スチューデントケアの練習と共にブロケアとしてフレンチカラーの実技テスト
4	ジェル①	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
5	ジェル②	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
6	ジェル③	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
7	ジェル④ 実技テスト	ジェル部門実技テスト、または作品提出

8	アート①	チップ作成またはデザインイクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技
9	アート②	チップ作成またはデザインイクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技
10	アート③ 作品提出	アート部門実技作品提出
11	スカulpture①	プロ部門のフレンチスカulptureの想定練習
12	スカulpture②	プロ部門のフレンチスカulptureの想定練習
13	スカulpture③	プロ部門のフレンチスカulptureの想定練習
14	スカulpture④ 実技テスト	プロ部門のフレンチスカulptureの想定練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケアⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	トリートメント・フットやマシン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、更なる技術向上を目指し実践する。				
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことが出来る。				
評価基準	授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	検定対策Ⅱ・ジェルネイルⅡ・ネイルアートⅡ・ネイルケアⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大野詩織	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロン勤務歴6年/日本ネイリスト協会認定講師/独立してプライベートサロン開業5年。 マシンオフ、ケアを含めてサロンで活かせる授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次復習	これまでの振り返りと2級検定振り返り
2	ハンドケア トリートメント理論	マシンを使用してのケア方法とトリートメントについて学ぶ
3	フットケア①	メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー
4	フットケア②	メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー
5	フットケア③	ネイルマシンを使用した、トリートメント、カラー
6	フットケア④	ネイルマシンを使用した、トリートメント、カラー
7	ハンドケア⑤	ネイルマシンを使用した、トリートメント、カラー

8	ハンドケア⑥	ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー
9	ケア、カラー	ラウンドの練習 色々なカラーリングの練習
10	ハンドケア（マシーン） カラー①	ネイルマシーンを使用したケアと色々なカラーリングの練習
11	ハンドケア（マシーン） カラー②	ネイルマシーンを使用したケアと色々なカラーリングの練習
12	実技テスト	実技テスト ハンドケア・マシーン
13	実技テスト	実技テスト ハンドケア・マシーン
14	筆記テスト	筆記テスト ケア・カラー
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケアⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケアⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	トリートメント・フットやマシーン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、 更なる技術向上を目指し実践する。				
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことができる。				
評価基準	授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	検定対策Ⅲ・ジェルネイルⅢ・ネイルアートⅢ・ネイルケアⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大野詩織	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロン勤務歴6年/日本ネイリスト協会認定講師/独立してプライベートサロン開業5年。 マシーンオフ、ケアを含めてサロンで活かせる授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ケア、カラー①	マシンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
2	ケア、カラー②	マシンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
3	ケア、カラー③	マシンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
4	フットケア・トリートメント・ジェル①	ジェルを取り入れたフットケア(メタルプッシャー)を学ぶ
5	フットケア・トリートメント・ジェル②	ジェルを取り入れたフットケア(メタルプッシャー)を学ぶ
6	フットケア(マシン) トリートメント・ジェル①	ジェルを取り入れたフットケア(ネイルマシン)を学ぶ

7	フットケア（マシーン） トリートメント・ジェル②	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
8	フットケア（マシーン） トリートメント・ジェル③	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
9	フットケア（マシーン） トリートメント・ジェル④	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
10	フットケア（マシーン） マシーンオフ①	ネイルマシンを使用したフットジェルのマシーンオフ
11	フットケア（マシーン） マシーンオフ②	ネイルマシンを使用したフットジェルのマシーンオフ
12	実技試験①	実技試験 フットケア・トリートメント・ジェル
13	実技試験②	実技試験 フットケア・トリートメント・ジェル
14	筆記テスト	筆記テスト ハンドケア(マシーン)・トリートメント・カラー
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアートⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する。				
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にもお答え出来、提供できる。				
評価基準	作品提出90％・授業態度他10％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケアⅡ・ネイルケア&ネイルアートⅠ-G				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	田原良子	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロン勤務経験6年 日本ネイリスト協会認定講師の経験を活かしネイルアートの楽しさと幅広いアート技術の習得を実感できるような授業に実施する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 作品紹介 2級検定実技	1年間の授業の流れ作品紹介 コンテスト作品を仕上げるコツ等を学ぶ 2級アート実技練習
2	エンボスアート基礎	エンボスアート基礎 ミクスチュアの取り方、ハートなど
3	エンボスアート①	エンボスの基本的な花やモチーフの実技
4	エンボスアート②	エンボスの基本的な花やモチーフの実技
5	3Dアート基礎	3Dの基本的な花やモチーフの実技
6	3Dアート応用	3Dアート応用の花やモチーフの実技
7	3Dアート(検定用)	検定用3Dアートに実技

8	エアブラシ基礎	ライン・ドット等シート練習 組立・掃除等のメンテナンスを覚える
9	エアブラシ応用①	ライン・ドット・ステンシルなどを使用したシート練習
10	エアブラシ応用②	ライン・ドット・ステンシルなどを使用したシート練習
11	ミックスメディアアート①	フラット・エンボス・3Dの技法を取り入れたアート作品を作る
12	ミックスメディアアート②	フラット・エンボス・3Dの技法を取り入れたアート作品を作る 作品提出
13	検定用アート①	1級検定アートのタイムトライアル
14	検定用アート②	1級検定アートのタイムトライアル 作品提出
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアートⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する。				
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にもお答え出来、提供できる。				
評価基準	作品提出90%・授業態度他10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケアⅢ・ネイルケア&ネイルアートⅡ-G				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	田原良子	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロン勤務経験6年 日本ネイリスト協会認定講師の経験を活かしネイルアートの楽しさと幅広いアート技術の習得を実感できるような授業に実施する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	検定用アート①	1級検定アートの実技
2	検定用アート② タイムトライアル	1級検定アートのタイムトライアル
3	検定用アート③ タイムトライアル	1級検定アートのタイムトライアル 作品提出
4	デザインスカルプチュア① デモ・実技	デザインスカルプチュアを学び習得する
5	デザインスカルプチュア②	デザインスカルプチュアを学び習得する
6	トレンドアート①	トレンドのネイルアートの技術を学ぶ
7	トレンドアート②	トレンドのネイルアートの技術を学ぶ

8	作品制作①	テーマと技法(エアール・フラットなど)を決めて作品を制作する
9	作品制作②	テーマと技法(エアール・フラットなど)を決めて作品を制作する 作品提出
10	タイムトライアル	サロンワークに対応するアートのタイムトライアル
11	卒業制作①	2年間の総復習
12	卒業制作②	2年間の総復習
13	卒業制作③	2年間の総復習
14	卒業制作④	2年間の総復習 作品提出
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅠ-G		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅠ-G		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	1
時間数					30
使用教材	ケースで学ぶ理美容業の接客マナー (教員用のみ) 関連科目の使用教材一式		出版社	早稲田教育出版 他	

科目の基礎情報②

授業のねらい	① マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う力、現場力を身につける。 ② 「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けて実践することができる ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	テスト・小テスト：60% 授業態度：10% 提出物：20% レポート：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	エステティックカウンセリングⅢ、アロマセラピー総論Ⅱ、フェイシャル&ボディⅡ ネイルケア&ネイルアートⅡ、パーソナルヘア&メイクⅡ、ヨガ・ピラティスⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通ず人を魅了することへの表現力を身につける
2	1年次復習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習	
7	サロンワーク技術練習	

8	サロンワーク技術練習	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ ・BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける
9	サロンワーク技術練習	
10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	振り返り	
15	総合授業	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ-G		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡ-G		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	1
時間数					30
使用教材	ケースで学ぶ理美容業の接客マナー (教員用のみ) 関連科目の使用教材一式		出版社	早稲田教育出版 他	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う力、現場力を身につける。 ②「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けて実践することができる。 ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	テスト・小テスト：60% 授業態度：10% 提出物：20% レポート：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	エステティックカウンセリングⅢ、アロマセラピー総論Ⅱ、フェイシャル&ボディⅡ ネイルケア&ネイルアートⅡ、パーソナルヘア&メイクⅡ、ヨガ・ピラティスⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通ず人を魅了することへの表現力を身につける
2	1年次復習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習	
7	サロンワーク技術練習	

8	サロンワーク技術練習	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ ・BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける
9	サロンワーク技術練習	
10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	振り返り	
15	総合授業	

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ-G		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅡ-G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ-Ⅲ AEAテキスト(各項目)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。 お手入れとアドバイスを専門に行える知識を身につける。				
到達目標	A E A 上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 A J E S T H E 認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	筆記試験40%・コンサルテーション40%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	プロフェイシャルⅡ-B・プロボディⅡ・サロントリートメント(エステ) サロンワーク・エステティック総論Ⅰ-B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	牛渡 千穂	実務経験		○	
実務内容	エステティックサロン勤務歴6年の経験を活かし、接客時に必要なカウンセリング力を身につける授業を展開する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	1年振り返り	1年生振り返り			
2	コンサルテーションシートの記入について(フェイシャル+ボディ)	記入方法について			
3	ホームケアアドバイスフェイシャル	運動学・栄養学・食事指導			
4	ホームケアアドバイスボディ	運動学・栄養学・食事指導			
5	ストレスが体に及ぼす影響	ストレスとは 脳の関係・内分泌系の関わり ストレスと免疫系・病気の関わり 現代病について ストレスとの付き合い方			
6	心と肥満の関係	肥満の心理側面・現代社会における肥満について 肥満の心理状態			
7	体のバランス機構	環境適応のメカニズム 自律神経による体内調節の仕組み 成績評価①			

8	A E A 上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
9	A E A 上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
10	A E A 上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
11	コンサルテーションシートのフェイシャル記入について	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる
12	口頭試問対策	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価②
13	コンサルテーションシートのボディ記入について	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる
14	口頭試問対策	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価③
15	総合授業	総まとめを行う
16	A j e a t h e 上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	A j e s t h e 上級試験筆記範囲 コンサルテーション 口頭試問 成績評価④
17	A j e a t h e 上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
18	A j e a t h e 上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
19	A j e a t h e 上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
20	A j e a t h e 上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
21	A j e a t h e 上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
22	A j e a t h e 上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
23	A j e a t h e 上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
24	A j e a t h e 上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
25	A j e a t h e 上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
26	筆記試験	成績評価⑤ 筆記試験模試
27	A j e a t h e 上級実技口頭試問対策 実技試験範囲	A j e s t h e 上級試験範囲
28		コンサルテーション 口頭試問
29		実技試験範囲 補填
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅢ－G		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅢ－G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ－Ⅲ ナチュラルビューティースタ일리スト検定 公式テキスト		出版社	日本エステティック協会 アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ。				
到達目標	ナチュラルビューティースタ일리スト検定合格レベル（任意）を目指す。				
評価基準	筆記試験60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	ナチュラルビューティースタ일리スト検定				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・アロマセラピー総論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年振り返り	1年振り返り
2	ナチュラルビューティーに生きる	植物の力のひみつ・自分の心と体を知る・あなたのタイプをチェック
3	カラダの仕組みを知る 1	ストレスとは・ホメオスタシスとは・内分泌系の役割
4	カラダの仕組みを知る 2	ライフステージ別カラダの変化・免疫系
5		カラダをつくる食事
6	カラダの内側から整える Lesson1 カラダをつくる食事	バランスのいい食事とは・旬の食材はなぜカラダにいいのか
7		腸を整えよう

8		カラダをあたためよう・腸活と温活
9		
10	カラダの内側から整える Lesson 1 カラダをつくる食事	食事とアンチエイジング
11		オイルとエイジングケア・レシピ紹介
12		テスト 成績評価①
13	カラダの内側から整える	睡眠の役割・睡眠のメカニズム
14	Lesson 2 カラダを休める睡眠	質のよい睡眠の条件 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う
16	カラダの内側から整える	カラダを動かすことのメリット・カラダの循環を知る
17	Lesson 3 カラダを巡らせる運動	運動実践(朝のストレッチ・夜のストレッチ・筋肉トレーニング)
18	カラダの内側から整える Lesson 4 ココロの疲れをリセット	ココロの疲れとは？ストレスと上手に付き合うには
19		ココロとカラダの状態が現れる肌(乾燥・紫外線・酸化糖化)
20		
21	カラダの外側から整える Lesson 1 正しいスキンケアで美肌をつくる	肌トラブル別お手入れ方法(ニキビ・しわたるみ・くすみ・クマ・毛穴)
22		美しいカラダを保つためのボディケア
23		スキンケアのための植物・ナチュラルコスメを使ってみよう
24	総合まとめ	成績評価③
25	カラダの外側から整える	
26	Lesson 2 ヘアケアで美しい髪	美しく健康な髪・髪と頭皮のメカニズム・健康な髪をつくる生活習慣
27	毎日の心がけで ナチュラルビューティー	Lesson 1 正しい呼吸法 理論・実践
28		Lesson 2 五感に心地よいライフスタイル
29	総合まとめ	ナチュラルビューティースタylist検定 模試 成績評価④
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマテラピーⅡ-G		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマテラピーⅡ-G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	アロマテラピー検定公式テキスト 1級 ナチュラルビューティースタylist検定公式テキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマテラピー検定対策 アロマテラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用				
到達目標	アロマテラピーを家族や周囲の人々ともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる アロマテラピー検定1級合格				
評価基準	筆記試験60%/小テスト10%/授業態度、提出物など10%/アロマ検定1級合否20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	アロマテラピー検定1級				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振り返り	1年間の振り返り
2	総復習	1年生時の総復習
3	アロマ1級試験復習 模擬試験	成績評価
4	ハーブのプロフィール メディカルハーブの効果と仕組み	(ウスベニアオイ) それぞれの特徴・効果を知る
5		(エキナセア) それぞれの特徴・効果を知る
6		(エルダーフラワー) それぞれの特徴・効果を知る

7		(セントジョワズワート) それぞれの特徴・効果を知る ハーブ以外の材料
8		トリートメント用ブレンドオイル作り
9		ダンディライオン・ラズベリーリーフ・ジャーマンカモミール・パッションフラワー アトピー性皮膚炎・湿疹・不安・緊張
10	ハーブのプロフィール	リンデン ・ハーブを利用するための様々な方法(湿布) 花粉症・肩こり・腰痛(温湿布)
11	メディカルハーブを使う ハーブによる癒しのレシピ	ハーブを利用するための様々な方法(チンキ)/しみ・色素沈着の予防・ハイビスカス/マテ スポーツ前の集中力と持続力のアップ
12		マルベリー/ローズヒップ ダイエット・肌荒れ・外傷
13		不眠・抑うつ(リンデン)・胃の不調・ペットのケア(ペパーミント) 二日酔い(ペパーミント・ダンディライオン・ローズヒップ)
14		風邪・インフルエンザ(エキナセア・エルダーフラワー) 目の疲れ(ウスペニアオイ・ジャーマンカモミール)
15	総合授業	総まとめ

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	アロマセラピーⅢ－G		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマセラピーⅢ－G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト 1級 ナチュラルビューティースタ일리スト検定 公式テキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	アロマセラピー検定対策。 アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用を習得する。				
到達目標	アロマセラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級合格を目指す。				
評価基準	筆記試験60%／小テスト20%(後期は10%)／授業態度、提出物など20%(後期は10%) / (後期) アロマ検定1級合格否20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	1年の振り返り	振り返り			
2	検定対策 第1章～2章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール(サイプレス・ジャーマンカモミール)それぞれの特徴・効果を知る			
3	検定対策 第3章～4章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール(ジャスミン・パチュリ)それぞれの特徴・効果を知る			
4	検定対策 第5章～6章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール(ブラックペッパー・ペチパー)それぞれの特徴・効果を知る			
5	検定対策 第7～8章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール(ベンゾイン・ミルラ)それぞれの特徴・効果を知る			
6	検定対策 第7～8章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール(メリッサ・ローズオットー)それぞれの特徴・効果を知る			
7	総合まとめ	成績評価① アロマ検定プレテスト			

8	精油紹介①	トリートメント用 ブレンドオイル作り
9	精油紹介②	シアバタークリーム作り(バーム)
10		
11	精油紹介③	ハンガリアンウォーター・化粧水作り(もしくはクレイパック)
12		
13	精油紹介④	手作りせっけん・MPソープ作り
14		
15	総合授業	総合授業を行う
16	精油紹介⑤	練香水作り
17		練香水作り
18	アロマ1級試験復習 模擬試験	成績評価②
19	ナチュラルビューティーに関わる植物	覚えておきたい植物の有効成分 植物(アサイー・ウコン・温州みかん)の属性・効果・特徴を学ぶ
20		植物(エルダーフラワー・甘草・ココ)の属性・効果・特徴を学ぶ
21		植物(クローブ・月桃・ごぼう)の属性・効果・特徴を学ぶ
22		植物(サフラン・しょうが・すぎな)の属性・効果・特徴を学ぶ
23		植物(セージ・タイム・チャ)の属性・効果・特徴を学ぶ
24		植物(朝鮮人参・月見草・ナツメグ)の属性・効果・特徴を学ぶ
25		植物(ペパーミント・ホーリーバジル・ゆず)の属性・効果・特徴を学ぶ
26		植物(よもぎ・レモンバーベナ・ローズヒップ)の属性・効果・特徴を学ぶ
27		総合復習
28	筆記試験	植物図鑑より 小テスト
29	模擬試験	模擬試験 成績評価③
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャル&ボディⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャル&ボディⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・クリエヌ化粧品セット タオル類・消耗品類・筆記用具・ボディ化粧品		出版社	日本エステティック協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。				
到達目標	認定フェイシャルエステティシャン技術力確認試験 合格レベル。				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン・認定ボディエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅢ・フェイシャル&ボディⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	フェイシャル&ボディⅡ オリエンテーション	フェイシャルエステティック 化粧品使用方法と説明
2	フェイシャル技術理論(皮膚学) カウンセリング	トリートメントの目的・皮膚の構造 カウンセリング・コンサルテーションシートの記入方法
3	ディープクレンジング 復習	粒子あり・なし・酵素 手順復習
4	ディープクレンジング 吸引	スチーマーの使用法・キッシング手順 理論含む
5	クレンジング～キッシング	クレンジング～キッシング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
6	ディープクレンジング ブラシ	ブラシの使用法 デモ・相モデル 理論含む
7	クレンジング～ブラシ	クレンジング～ブラシ～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)

8	総合技術 吸引・ブラシ	成績評価①
9	ディープクレンジング 電気	イオンクレンジングもしくはディスインクラステーション 理論含む
10	クレンジング～電気	クレンジング～イオンクレンジング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
11	ディープクレンジング総合	総合復習 カウンセリングを実施し合ったものを提供
12	コンサルテーションシート	成績評価② 全体を総合し、肌にあった内容を提供できること
13	フェイシャルマスク	デモンストレーション・手技・拭き取り
14	クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック	クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック 通し
15	総合技術	総まとめを行う
16	ボディ技術理論 (生理解剖学) カウンセリング	トリートメントの目的・人体の構造 カウンセリング・コンサルテーションシートの記入方法
17	マッサージ復習	下肢後面・腰背部・腹部 手順確認・拭き取り
18	コンサルテーションシート	復習
19		デモスト・手技・拭き取り
20	下肢前面	相モデル練習
21		成績評価③
22	上肢・デコルテ～頭部	上肢・デコルテ・頸部・頭部 デモスト・手技・拭き取り
23		通し練習
24	導入アロマとは アロマセラピーのある暮らし精油のプロ フィール	香りのイメージ 安全の為に注意/イランイラン
25		精油とは/精油のもととなる植物の芳香物質/精油製造方法 オレンジ・スイート、ジュニパーベリー
26		芳香浴法・沐浴法・吸入法/精油が心身に作用する経路 ゼラニウム、ティートリー
27	アロマトリートメント(全身)	全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする
28		全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする
29		成績評価④
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャル&ボディⅢ			
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャル&ボディⅢ			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60	
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・クリエヌ化粧品セット タオル類・消耗品類・筆記用具・ボディ化粧品		出版社	日本エステティック協会		

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。				
到達目標	認定フェイシャルエステティシャン技術力確認試験 合格レベル。				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン・認定ボディエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅢ・フェイシャル&ボディⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	フェイシャル&ボディⅡ オリエンテーション	フェイシャルエステティック 化粧品使用方法と説明
2	フェイシャル技術理論(皮膚学) カウンセリング	トリートメントの目的・皮膚の構造 カウンセリング・コンサルテーションシートの記入方法
3	ディープクレンジング 復習	粒子あり・なし・酵素 手順復習
4	ディープクレンジング 吸引	スチーマーの使用法・キッシング手順 理論含む
5	クレンジング～キッシング	クレンジング～キッシング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
6	ディープクレンジング ブラシ	ブラシの使用法 デモ・相モデル 理論含む
7	クレンジング～ブラシ	クレンジング～ブラシ～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)

8	総合技術 吸引・ブラシ	成績評価①
9	ディープクレンジング 電気	イオンクレンジングもしくはディスインクラステーション 理論含む
10	クレンジング～電気	クレンジング～イオンクレンジング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
11	ディープクレンジング総合 コンサルテーションシート	総合復習 カウンセリングを実施し合ったものを提供
12		成績評価② 全体を総合し、肌にあった内容を提供できること
13	フェイシャルマスク	デモンストレーション・手技・拭き取り
14	クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック	クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック 通し
15	総合技術	総まとめを行う
16	ボディ技術理論(生理解剖学) カウンセリング	トリートメントの目的・人体の構造 カウンセリング・コンサルテーションシートの記入方法
17	マッサージ復習 コンサルテーションシート	下肢後面・腰背部・腹部 手順確認・拭き取り
18		復習
19	下肢前面	デモスト・手技・拭き取り
20		相モデル練習
21		成績評価③
22	上肢・デコルテ～頭部	上肢・デコルテ・頸部・頭部 デモンストレーション・手技・拭き取り
23		通し練習
24	導入アロマとは アロマセラピーのある暮らし精油のプロ フィール	香りのイメージ 安全の為の注意/イランイラン
25	アロマトリートメント(全身)	精油とは/精油のもととなる植物の芳香物質/精油製造方法 オレンジ・スイート、ジュニパーベリー
26		芳香浴法・沐浴法・吸入法/精油が心身に作用する経路 ゼラニウム、ティートリー
27		全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする
28		全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする
29		成績評価④
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケア&ネイルアートⅠ-G			
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア&ネイルアートⅠ-G			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30	
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会		

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、JNEC 2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する。				
到達目標	基礎技術に加えてJNEC 2級取得レベルとサロンで通用する技術ができる。				
評価基準	前期：授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40% 後期：アート作品30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	検定対策&ジェルⅠ・ネイルアートⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ネイルケア・パラフィン ・ハンドトリートメント	ハンドトリートメントと共にパラフィンパックを学ぶ
2	ネイルケア・パラフィン ・ハンドトリートメント	ハンドトリートメントと共にパラフィンパックを学ぶ
3	ネイルケア・カラー・アート	サロンで接客の出来るケア・カラー・アートを習得する
4	ネイルケア・カラー・アート	サロンで接客の出来るケア・カラー・アートを習得する
5	2級ケア・アート練習	2級検定合格へ向けてのケア・アートを習得する
6	チップラップ実技	チップラップ実技
7	チップラップ実技	チップラップ実技

8	2級実技タイムトライアル	タイム取りをして検定実技の練習を行う
9	2級実技タイムトライアル	タイム取りをして検定実技の練習を行う
10	ペディキュア・ フットトリートメント講義デモ	フットケアを学ぶ
11	ペディキュア	フットケアを学ぶ
12	ペディキュア	フットケアを学ぶ
13	実技試験	実技試験
14	実技試験 筆記テスト	実技試験 筆記試験
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケア&ネイルアートⅡ-G		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア&ネイルアートⅡ-G		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	1
時間数	30				
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、JNEC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する。				
到達目標	基礎技術に加えてJNEC2級取得レベルとサロンで通用する技術ができる。				
評価基準	通年/前期：授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40% 後期：アート作品30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	検定対策&ジェルⅡ・ネイルアートⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期複習	1年次・2年次前期に学んできた事を復習をする
2	2級検定練習	2級検定へ向けての総仕上げ練習
3	2級検定練習	2級検定へ向けての総仕上げ練習
4	教材の説明エンボスアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
5	エンボスアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
6	3Dアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
7	エンボスアート 3Dアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ

8	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う
9	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う
10	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う
11	実技試験	実技試験
12	筆記試験	筆記試験
13	卒業制作	チップを使用してのアート作品を制作
14	卒業制作	チップを使用してのアート作品を制作
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&ジェルI		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&ジェルI		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	JNEC 2級・JNAジェルネイル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る。				
到達目標	JNAジェルネイル検定初級を合格し、サロンで通用する技術を身につける。				
評価基準	通年 前期：ジェルネイル初級検定結果30%・宿題/授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30% 後期：宿題/授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNAジェルネイル検定初級・中級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートII				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ジェルネイル教材の名称及び説明 ジェルネイル講義 デモ(クリア・カラー) オフの仕方	教材説明
2	ジェルネイル検定初級検定説明・デモ 初級検定DVD	UVライト(LED)で硬化するジェルシステムを学ぶ
3	クリアカラー実技	ジェルネイル検定初級内容を学び、技術をマスターする
4	ジェルネイル検定初級検定実技	※必要に応じてDVDやデモを取り入れる
5	ジェルネイル検定初級実技	初級ジェル内容の技術をマスターする
6		初級ジェル内容の技術をマスターする
7	ジェルネイル検定初級実技 (タイムトライアル)	タイム取りをして検定実技の練習を行う
8		
9	実技テスト(初級検定内容)	初級ジェル内容の技術をマスターする
10	実技テスト(ジェルネイル検定初級内容) 筆記テスト	初級ジェル内容の実技テスト

11	ネイリスト検定2級対応ケア練習 (ラウンド/プッシュャーニッパー強化)	ファイリングやニッパーのハンドリングを改めて見直し、基礎的技術の強化を行う
12		
13	ネイリスト検定2級検定実技 (チップラップ・ケア・カラーアート)	ネイリスト検定2級検定の実技の練習を繰り返し行う
14		
15	総合授業	これまでの総まとめを行う
16	前期復習	1年次・2年次前期に学んできた事を復習し、練習を繰り返し技術向上を目指す
17	ネイリスト検定2級実技 (タイムトライアル)	タイム取りをして検定実技の練習を行う
18		
19	筆記テスト ネイリスト検定2級実技	2級検定 筆記テスト・実技を行う
20	ネイリスト検定2級練習	ネイリスト検定2級検定へ向けての総仕上げ練習
21	フレンチ・グラデーション デモ・実技	
22	フレンチ・グラデーション・実技	
23	フレンチ・グラデーション実技	
24	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカルプチュア ジェルオフ デモ・実技	色々なジェルの技法やアートを学ぶ
25	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカルプチュア 実技	
26	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカルプチュア 実技	
27	ジェルアート	
28		ジェルネイルチップオーバーレイ グラデーション、フレンチ内容
29	実技テスト	ジェルネイルチップオーバーレイ グラデーション、フレンチ内容
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&ジェルII		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&ジェルII		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	JNEC2級・JNAジェルネイル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る。				
到達目標	JNAジェルネイル検定初級を合格し、サロンで通用する技術を身につける。				
評価基準	通年 前期：ジェルネイル初級検定結果30%・宿題/授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30% 後期：宿題/授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNAジェルネイル検定初級・中級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートII				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ジェルネイル教材の名称及び説明 ジェルネイル講義 デモ(クリア・カラー) オフの仕方	教材説明
2	ジェルネイル検定初級検定説明・デモ 初級検定DVD	UVライト(LED)で硬化するジェルシステムを学ぶ
3	クリアカラー実技	ジェルネイル検定初級内容を学び、技術をマスターする
4	ジェルネイル検定初級検定実技	※必要に応じてDVDやデモを取り入れる
5	ジェルネイル検定初級実技	初級ジェル内容の技術をマスターする
6		初級ジェル内容の技術をマスターする
7	ジェルネイル検定初級実技 (タイムトライアル)	タイム取りをして検定実技の練習を行う
8		
9	実技テスト(初級検定内容)	初級ジェル内容の技術をマスターする
10	実技テスト(ジェルネイル検定初級内容) 筆記テスト	初級ジェル内容の実技テスト・筆記テスト

11	ネイリスト検定2級対応ケア練習 (ラウンド/プッシュャーニッパー強化)	ファイリングやニッパーのハンドリングを 改めて見直し、基礎的技術の強化を行う
12		
13	ネイリスト検定2級検定実技 (チップラップ・ケア・カラーアート)	ネイリスト検定2級検定の実技の練習を繰り返し行う
14		
15	総合授業	これまでの総まとめを行う
16	前期復習	1年次・2年次前期に学んできた事を 復習し、練習を繰り返し技術向上を目指す
17	ネイリスト検定2級実技 (タイムトライアル)	タイム取りをして検定実技の練習を行う
18		
19	筆記テスト ネイリスト検定2級実技	2級検定の筆記テスト・実技練習
20	ネイリスト検定2級練習	ネイリスト検定2級検定へ向けての 総仕上げ練習
21	フレンチ・グラデーション デモ・実技	
22	フレンチ・グラデーション・実技	
23	フレンチ・グラデーション実技	
24	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカルプチュア ジェルオフ デモ・実技	色々なジェルの技法やアートを学ぶ
25	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカルプチュア 実技	
26	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカルプチュア 実技	
27	ジェルアート	
28		ジェルネイルチップオーバーレイ グラデーション、フレンチ内容
29	実技テスト	ジェルネイルチップオーバーレイ グラデーション、フレンチ内容
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パーソナルヘア&メイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルヘア&メイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する。 お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	トータルメイクⅠ、トータルメイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカーラーなど)/振り返り
2	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
3	夜会巻①	夜会巻(導入・練習)
4	夜会巻②	夜会巻(練習)
5	夜会巻③	本夜会(導入・練習)
6	夜会巻④	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)

7	和装・洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
8	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
9	和装・洋装スタイル③	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
10	和装・洋装スタイル④	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
11	和装・洋装スタイル⑤	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
12	和装・洋装スタイル⑥	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
13	和装・洋装スタイル⑦	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
14	和装・洋装スタイル⑧	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パーソナルヘア&メイクⅢ			
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルヘア&メイクⅢ			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30	
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	株式会社ユアサポート		

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する。 お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	トータルメイクⅠ、トータルメイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	和装・洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
2	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
3	和装・洋装スタイル③	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
4	和装・洋装スタイル④	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
5	和装・洋装スタイル⑤	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
6	和装・洋装スタイル⑥	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
7	和装・洋装スタイル⑦	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成

8	和装・洋装スタイル⑧	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
9	和装・洋装スタイル⑨	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
10	和装・洋装スタイル⑩	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
11	和装・洋装スタイル⑪	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
12	卒業制作①	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
13	卒業制作②	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
14	卒業制作③	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	トータルメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	トータルメイクⅠ		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	1
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス (デジタルテキスト)		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス(任意受験)				
関連科目	パーソナルヘア&メイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/練習①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習
2	プロポーション、錯覚	プロポーション、錯覚(導入、実践)
3	色とトーン	色の持つイメージ・トーンを持つイメージを理解し、各色が持つイメージワードを考え、組み合わせることで、メイクの幅が広がることを理解する
4	カラーマップに沿ったメイク 質感①	カラーマップの見方を理解し、前回学んだ事を踏まえ相モデルでモデルに合ったメイクを実践。また、質感の特徴も理解する
5	カラーマップに沿ったメイク 質感②	カラーマップの見方を理解し、前回学んだ事を踏まえ相モデルでモデルに合ったメイクを実践。また、質感の特徴も理解する
6	パーソナルメイクアップ①	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践
7	パーソナルメイクアップ②	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践

8	スチールメイク①	作品作りに必要なテクニックを理解させ、スチールメイクに必要なベースづくりや色の出し方をマスターする
9	スチールメイク②	SNSや雑誌等を活用してスチールメイクをする
10	スチールメイク③	SNSや雑誌等を活用してスチールメイクをする
11	フォトコンテスト対策①	テーマに合わせたデザイン画の作成、フルメイク練習
12	フォトコンテスト対策②	フルメイク(テスト、振り返り)
13	フォトコンテスト対策③	作品制作撮影
14	フォトコンテスト対策④	作品制作撮影
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	トータルメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	トータルメイクⅡ		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	1
時間数					30
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス (デジタルテキスト)		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス(任意受験)				
関連科目	パーソナルヘア&メイクⅡ、パーソナルヘア&メイクⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イメージチェンジ①	イメージチェンジ(実践)
2	イメージチェンジ②	イメージチェンジ(実践)
3	イメージチェンジ③	イメージチェンジ(実践)
4	パーティーメイク①	パーティースタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
5	パーティーメイク②	パーティースタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
6	成人式メイク①	成人式スタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
7	成人式メイク②	成人式スタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成

8	クイックチェンジメイク①	ワンポイントチェンジで人の印象を変える
9	クイックチェンジメイク②	前回の内容を活かし、どこをチェンジしてどう印象を変えるか プレゼンも含めメイクをする
10	クイックチェンジメイク③	テスト、振り返り
11	卒業制作①	卒業制作用のデッサン画、メイク練習
12	卒業制作②	メイク練習
13	卒業制作③	卒業制作用のデッサン画、メイク
14	卒業制作④	撮影、振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヨガ・ピラティスⅠ			
必修選択	選択	(学則表記)	ヨガ・ピラティスⅠ			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30	
使用教材	これ1冊できちんとわかるヨガ、ピラティス ヨガマット、フォームローラー		出版社	マイナビ出版		

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ。 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する。					
到達目標	ヨガやピラティスの身体と精神に及ぼす好影響を説明できる。 ヨガやピラティスのポーズを実施する。					
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%					
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 					
関連資格	なし					
関連科目	なし					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。					
担当教員				実務経験		
実務内容						

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション、授業導入 ヨガとは、ピラティスとは	ヨガの基礎知識、ピラティスの知識、ヨガとピラティスの共通点/違いについて (実技なし)
2	ヨガとは何か	ヨガのルーツ/歴史、ヨガとエクササイズの違い (実技：基本姿勢の実践)
3	ヨガの目的と効果	ヨガの目的/肉体的な効果と精神的な効果 (実技：基本姿勢からのアーサナ)
4	ヨガの基本プロセス	ヨガの実践方法/3つのプロセス、ヨガの実践のポイント (実技：基本姿勢からのアーサナ)
5	ヨガの呼吸法	ヨガで呼吸が大切な理由、腹式呼吸と胸式呼吸の違いと効果 (実技：呼吸を意識してポーズの実践)
6	ヨガの種類、Q & A	ヨガのいろいろな種類、ヨガへの素朴な疑問と答え (実技：ヨガフロー)
7	ヨガの瞑想	瞑想とは、瞑想のメカニズム (実技：ヨガフロー)

8	ヨガの瞑想	瞑想の効果、自分と向き合う（実技：ヨガフロー）
9	ヨガの瞑想	シャバーサナの必要性（実技：ヨガフロー、瞑想の実践）
10	チャクラについて	チャクラの場所と効果（実技：チャクラを意識したヨガ）
11	女性の身体とヨガ	月の満ち欠けに合わせる暮らし（実技：月の満ち欠けに合わせたヨガ）
12	ヨガ筆記テスト①	実技：ヨガフロー
13	ヨガのプログラミング	ヨガのプログラムを自分で考える（実技：ヨガフロー）
14	太陽礼拝	太陽礼拝とは、効果について（実技：太陽礼拝）
15	パワーヨガ	パワーヨガの歴史と効果について（実技：パワーヨガ）

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヨガ・ピラティスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヨガ・ピラティスⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	症状別ヨガ&ピラティスの教科書 ヨガマット		出版社	つちや書店	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ。 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する。				
到達目標	ヨガやピラティスの身体と精神に及ぼす好影響を説明できる。 ヨガやピラティスのポーズを実施する。				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ヨガとは	身体を動かすことでの心身に及ぼす好影響、ピラティスとヨガの違い、ヨガの効果 (P8～15)
2	ヨガと内観(感) セルフチェック	精神・身体・呼吸のつながりを体感する (P24～29)
3	ヨガの呼吸法 ヨガの準備運動	呼吸法の習得、準備運動の必要性 (P30～37)
4	美姿勢ヨガ①	ポーズを実践
5	美姿勢ヨガ②	ポーズを実践
6	美姿勢ヨガ③	ポーズを実践
7	テスト	ヨガの理解度の確認
8	ピラティスとは	ピラティスの効果、コントロールとは (P16～20)

9	正しい姿勢とは	六点法で正しいアライメント（仰臥位・座位・立位・歩行）（P40～47）
10	ピラティスの準備運動 ピラティスの呼吸法	ストレッチ，ブリージング方法の習得（P48～52）
11	ファンダメンタル	基礎動作の習得
12	美姿勢ピラティス①	エクササイズの習得
13	美姿勢ピラティス②	エクササイズの習得
14	テスト	ピラティスの理解度の確認
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	デトックスⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	デトックスⅠ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	専門医が教えるデトックス入門		出版社	幻冬舎	

科目の基礎情報②

授業のねらい	食事・科学物質・環境・ストレスなど体内に蓄積しやすい有害物質を理解し、解毒排出方法を知る。				
到達目標	デトックスについて様々な知識を習得し、日常の中で実践できる。				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	ダイエット学、アロマセラピーⅢ、栄養学Ⅰ、Ⅱ、生理学Ⅰ、Ⅱ、皮膚学Ⅰ、Ⅱ、概論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 導入	担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標・評価基準について解説 各々が考える「デトックス」とは何か考える
2	導入 デトックスとは	生活習慣のチェックし自身の生活習慣を振り返る 生活の中にありふれている沢山の毒について学ぶ
3	体の毒とアンチエイジングの基礎知識	生活の中に溢れている毒を学ぶ
4	【デトックス基礎編】 避けられない毒とは 酸化 糖化 炎症 老化のサインは糖尿病になって現れる	避けられない毒、酸化について学ぶ
5		糖化について学ぶ
6		炎症について学ぶ
7		毒の悪循環と糖尿病について学ぶ
8	・グループワーク ・個人ワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質、重金属、酸化・糖化・炎症について各グループごとにまとめ ・化学物質、重金属や酸化、糖化、炎症について個人ごとにまとめ

9	成績評価①	・化学物質、重金属、酸化・糖化・炎症について各グループごとに発表 ・化学物質、重金属や酸化、糖化、炎症のレポートを共有、復習する
10	老化とアンチエイジング	老化とは何か アンチエイジングとは何かを学ぶ①
11		アンチエイジングとは何か学ぶ② アンチエイジングの取り入れ方を学ぶ
12	テスト 成績評価②	理解度の確認
13	デトックスの仕組みや方法	代謝について学ぶ
14		各種デトックスの方法を知る（食材、食事、水、アロマ、スパイス、ハーブ、運動、生活リズムなど）
15	総合授業	前期 総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	デトックスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	デトックスⅡ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	専門医が教えるデトックス入門		出版社	幻冬舎	

科目の基礎情報②

授業のねらい	食事・科学物質・環境・ストレスなど体内に蓄積しやすい有害物質を理解し、解毒排出方法を知る。				
到達目標	デトックスについて様々な知識を習得し、日常の中で実践できる。				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	ダイエット学、アロマセラピーⅢ、栄養学Ⅰ、Ⅱ、生理学Ⅰ、Ⅱ、皮膚学Ⅰ、Ⅱ、概論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	【デトックス実践編】 今日からできるデトックス 引き算するデトックスについて	身体のデトックスの仕組みを学ぶ
2		過剰毒について学ぶ
3		デトックス効果（全身）について学ぶ
4		酸化予防について学ぶ
5		糖化予防について学ぶ
6		炎症の予防について学ぶ①
7		
8		ファスティングについて学ぶ ※酵素ドリンク試飲
9		水素ケアや水素療法について学ぶ

10	まとめ	教科書の総まとめを行う
11	テスト 成績評価③	理解度の確認
12	デトックスの方法	デトックスに効果的な反射区やデトックス技術を知る
13		各種デトックスの方法を知る（食材、食事、水、スパイス、ハーブ、運動、生活リズムなど） ※ハーブティー試飲
14	成績評価④	<ul style="list-style-type: none"> ・ベアに合った具体的なデトックス方法のアドバイスをデモで発表 ・自分に合った具体的なデトックス方法のアドバイスのレポート作成
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ダイエット学Ⅰ			
必修選択	選択	(学則表記)	ダイエット学Ⅰ			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30	
使用教材	ダイエット検定 1・2級テキスト			出版社	日本ダイエット健康協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る。				
到達目標	健康で美しい体を維持するための方法を理解し、 日本ダイエット健康協会ダイエット検定2級を取得する。				
評価基準	テスト・小テスト：40% 検定取得：30% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	ダイエット検定 1・2級				
関連科目	デトックス・生理学Ⅰ・栄養学Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ダイエット学 導入 ダイエットとは	ダイエット検定を取得している芸能人や有名人など紹介、検定を取ることの意義（P21～26）、自己分析 第2章 Q1～Q5について学ぶ
2	現代ダイエットの基礎知識	第3章 Q6～Q10
3	体脂肪の基礎知識	第4章 Q11～Q15
4	カロリーと栄養素とダイエット	第5章 Q16～Q20
5		第5章 Q21～Q25
6	模擬試験①	第2章～第5章 成績評価①
7	代謝とリバウンドの基礎知識	第6章 Q26～Q31
8	インスリンとGI値	第7章 Q32～Q34

9	運動とダイエット方法論	第8章 Q35～Q40
10	模擬テスト	成績評価②
11	模試解説	模擬試験の解説
12	検定前模擬試験	模擬試験と解説
13	第1章 ダイエットと栄養素	PFCバランス/ビタミンとミネラル/飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸について
14		ダイエットを促進する栄養素と食材/飲酒によって体脂肪が増えるメカニズム
15	第2章 サプリメントとダイエット	サプリメントの役割と注意点/サプリメントの効率的使用方法
16	第3章 体脂肪と肥満と疾病リスク	メタボリックシンドロームの定義/ 特定検診・保険指導について 内蔵脂肪の悪玉構造/肥満の種類・定義と疾病リスク ～ 褐色脂肪細胞
17	第4章 GI値と内分泌系の基礎	GI値の定義～同化・異化のシステムコントロール
18	第5章 神経と食欲とダイエット	ダイエットと自律神経～食欲との付き合い方
19	第6章 運動と筋肉と代謝	運動効果の基本～誰でもできるウォーキング
20		筋肉トレーニングと基礎代謝の増加～DITエネルギー消費量比較
21	模擬試験	成績評価③
22	模試解説	模擬試験の解説
23	第6章 運動と筋肉と代謝（補足）	運動実践
24	総合まとめ	1級・2級検定内容の振り返り
25	自分に合ったダイエット方法	今までの学びから卒業までの目標を立ててダイエットプランを作成
26	自分に合ったダイエット方法	ダイエットプランを作成し発表する/食事ノートの作成
27	流行ダイエット	現在の流行のダイエットを研究する
28	相手に合ったダイエット方法を提案しカウンセリングする	ダイエットプランを立て提案する
29	相手に合ったダイエット方法を提案しカウンセリングする	ダイエットプランを立て提案する
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ダイエット学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ダイエット学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ダイエット検定 1・2級テキスト		出版社	日本ダイエット健康協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る。				
到達目標	健康で美しい体を維持するための方法を理解し 日本ダイエット健康協会ダイエット検定2級を取得する。				
評価基準	テスト・小テスト：40% 検定取得：30% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	デトックス・生理学Ⅰ・栄養学Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第3章 体脂肪と肥満と疾病リスク	メタボリックシンドロームの定義/ 特定検診・保健指導について 内蔵脂肪の悪玉構造/肥満の種類・定義と疾病リスク ～ 褐色脂肪細胞
2	第4章 GI値と内分泌系の基礎	GI値の定義～同化・異化のシステムコントロール
3	第5章 神経と食欲とダイエット	ダイエットと自立神経～食欲との付き合い方
4	第6章 運動と筋肉と代謝	運動効果の基本～誰でもできるウォーキング
5		筋肉トレーニングと基礎代謝の増加～DITエネルギー消費量比較
6	模擬試験	成績評価③
7	模試解説	模擬試験の解説

8	第6章 運動と筋肉と代謝（補足）	運動実践
9	総合まとめ	1級・2級検定内容の振り返り
10	自分に合ったダイエット方法	今までの学びから卒業までの目標を立ててダイエットプランを作成
11	自分に合ったダイエット方法	ダイエットプランを作成し発表する/食事ノートの作成
12	流行ダイエット	現在の流行のダイエットを研究する
13	相手に合ったダイエット方法を提案し カウンセリングする	ダイエットプランを立て提案する
14	相手に合ったダイエット方法を提案し カウンセリングする	ダイエットプランを立て提案する
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ-Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ-Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要な基礎スキルが身についている。 ・相手の立場に立った物事の考え方ができる。 ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる。 				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ－Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ－Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none">・社会人として必要な基礎スキルが身についている。・相手の立場に立った物事の考え方ができる。・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる。				
評価基準	①企業側評価 75%(評価表にて採点) ②学校側評価 25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	<ul style="list-style-type: none">・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					